

**クロス・センダイ・ラボ 課題設定型実証公募事業  
募集要項【2022年度1期】**

**1 目的**

仙台市では、多様化する行政課題や地域課題の解決に向けて、行政とは異なる視点、ノウハウ、アイデアなどを有する民間企業や大学など、多様な主体との連携を深めるため、民間企業等からの提案や相談を一元的に受け付ける窓口「クロス・センダイ・ラボ」を設置しています。

その取り組みの一環として、仙台市が提示する具体的な行政課題に対し、課題の解決に向けた民間企業等からの先進的なアイデアや技術を活用した提案を募集します。

なお、この事業に採択され本市と共同開発した新商品等は、「クロス・センダイ・ラボの実証公募事業を通じて開発された新商品等に関する新たな調達制度に係る実施要綱」に基づく認定を経て、仙台市との特命随意契約が可能となる場合があります。

**2 募集テーマ**

AI 技術を活用した提案型観光サービスの実証実験及びデータ分析

担当部署：文化観光局観光課

解決したい課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・ デジタル化の進行や新しい生活様式など社会の変化に対応したい</li><li>・ 旅マエ・旅ナカでの観光客のニーズに即した提案型観光案内を行い、誘客促進・域内周遊を促したい</li><li>・ 仙台に関心がある観光客の嗜好や潜在的なニーズをデータで把握・分析し、既存の観光サイトの改修や観光施策に生かすことで観光客の満足度向上につなげたい</li><li>・ 訪日外国人観光客にも満足してもらえるよう、多言語でサービスを提供したい</li></ul>
求める解決策	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 効果的かつ効率的に本市の観光スポットや交通アクセスなどの情報提供を行うことができる AI 技術（AI チャットボット等）を活用した提案型観光案内サービスの開発</li><li>・ 新たな誘客促進・回遊性向上施策につながる観光客の潜在的なニーズに関するデータの収集及び分析</li><li>・ 観光客が直感的にサービスにアクセスできる仕組みの構築</li></ul>

**3 応募資格**

申込希望者は、次に掲げる要件をすべて満たす事業者又は複数の事業者で構成される共同体（以下「グループ」といいます。）とします。個人（個人事業主を除く。）での応募は認めません。グループを結成して応募する場合は、すべての構成員が要件を満たしているものとします。

- (1) 本市の事業の趣旨を理解し、行政と共同で課題解決に取り組む意欲があること。

- (2) 宗教団体や政治活動を主たる目的とする法人又は団体でないこと。
- (3) 次のア～カをすべて満たすこと。
  - ア 地方自治法施行令(昭和 22 年政令第 16 号)第 167 条の 4 第 1 項各号の規定に該当しない者
  - イ 会社更生法(平成 14 年法律第 154 号)に基づく更生手続き開始前の申立中または更生手続き中でない者
  - ウ 民事再生法(平成 11 年法律第 225 号)に基づく再生手続き開始の申立中または再生手続き中でない者
  - エ 有資格者に対する指名停止要綱(昭和 60 年 10 月 29 日市長決裁)第 2 条第 1 項の規定による指名の停止を受けていない者
  - オ 仙台市入札契約暴力団等排除要綱(平成 20 年 10 月 31 日市長決裁)別表に掲げる要件に該当しない者
  - カ 仙台市税を滞納していない者
- (4) 失格規定に該当しないこと。

次に掲げる事項に該当する者は、応募資格を失うものとします。グループを結成して応募する場合は、いずれかの構成員が該当すれば応募資格を失うものとします。採択事業者決定後に応募資格を満たさないことが判明した場合は、当該決定を取り消すものとします。

- ア 虚偽の内容で申請した者
- イ 応募書類の提出後、3の(1)～(3)に規定する応募資格の要件を満たさないことが認められた者
- ウ 選考の公平性に影響を与える行為をした者
- エ 募集要項に違反すると認められる者
- オ その他不正な行為を行ったと認められる者

#### 4 採択事業者を求める実施内容

- (1) サービスの開発及び実証実験の実施  
提出した実施計画書に基づき、仙台市の担当部署と共同で課題解決につながるサービスを開発し、2022年7月～9月に実証実験を実施すること。
- (2) 実証実験結果の分析及び仙台市へのフィードバック  
実証実験で得られたデータを適切に分析・評価し、検証結果をまとめた報告書を作成し仙台市へフィードバックすること。

#### 5 実証にかかる費用について

実証にかかる経費に1/2を乗じた額(千円未満切り捨て)を仙台市が負担します。ただし、仙台市の負担上限額は2,898千円とし、それを超える額は採択事業者の負担となります。

※対象経費の内容及び仙台市負担額等の詳細については、採択事業者決定後に個別に協議のうえ決定します。

## 6 仙台市の支援内容

### (1) 実証フィールドの提供及び関係者との調整

仙台市が関係する観光関連団体や観光施設、観光案内所等、実証に必要な関係者との調整を行います。

### (2) 市 HP 等での広報 PR

仙台市と共同で開発に取り組む様子を市 HP 等で PR します。

## 7 選考について

### (1) 選考の流れ

- ・ 審査は、一次審査、二次審査の2段階で実施します。
- ・ 一次審査は、事務局による書類審査（必要に応じてヒアリング）にて行います。
- ・ 二次審査は、担当課及び外部有識者を含む審査委員に対してプレゼンテーションを行っていただきます。
- ・ 採択事業者には、後日採択通知をメールにてご連絡します。

### (2) スケジュール

日時	内容
3月31日(木)	エントリー開始
4月22日(金) 17時	提案書提出
4月25日～27日	一次選考(書類審査)
4月28日(木)	二次選考(プレゼンテーション審査)
5月6日(金)	採択結果通知
5月上旬～6月	覚書締結・共同開発
7月中旬～9月	実証実験
10月	実証結果の分析・評価
11月	報告書の提出

### (3) 選考基準

審査項目	内容	配点
課題の理解度	募集テーマを適切に理解し、実現可能な解決手法になっているか。 提案された解決手法により高い改善効果が見込めるか。	30点
取り組み体制	専門性と高い技術力を有しているか。 実証で得られたデータを適切に分析・評価できる体制となっているか。 プロジェクトを計画通りに進めることができる体制となっているか。	20点

新規性・創造性	既存のサービスと差別化できる要素を持っているか。	20点
職員との協調性	仙台市職員と協働しながらより良いサービス開発を進める熱意があるか。	15点
継続性・収益性	ビジネスモデルが構築できているか。 事業継続できる収益基盤があるか。 他都市への横展開が可能なビジネスになっているか。	15点

## 8 応募について

事前に申し込みフォームから申し込みのうえ、下記の提出期限までに実施計画書（任意様式・A4 サイズ横書き・10 ページ以内・PDF 形式）を提出先のメールアドレスへお送りください。

(1) 申し込みフォーム

<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?acs=cslkadai>

(2) 提出期限 令和4年4月22日（金）17時

(3) 提出先 仙台市まちづくり政策局 プロジェクト推進課 [cslab@city.sendai.jp](mailto:cslab@city.sendai.jp)

(4) 実施計画書に記載する内容

- ① テーマの課題を解決するアイデア
- ② アイデアを実現するために使用する技術・テクノロジー
- ③ 実証実験計画案
- ④ 実証にかかる費用の見積
- ⑤ 実施体制